

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市短歌会館

団体名：ホームックス株式会社名古屋支店

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

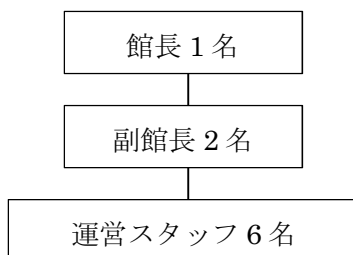
<管理運営方針>

- 施設の設置目的及び名古屋市の施策に則り、平等利用のもと利用者サービスの向上に努めます。
- 施設を利用する方が、安心・安全・快適に利用できるよう活動環境を整えます。
- 短歌を始めとする文化芸術の魅力を発信し、その振興を促進します。

②管理運営体制

<職員配置・養成計画>

- 原則下記の体制とし、利用調整会やイベントが開催される際は十分な増員を行います。
- 夜間の開館時間においても常時 2 人体制にするなど、安心・安全に重きを置いたシフト・ローテーションで運営します。



- 人を「企業資源」として捉え、「人財」として育成を行います。コンプライアンスの遵守や市民サービスの提供についての視点を育てるとともに、明るい挨拶や接客を通して利用者が安心して快適に施設をご利用いただけるよう研修を積極的に行います。

<情報の保護・公開に関する計画>

- 「個人情報保護法」や「名古屋市個人情報保護条例」等関係法令に則り、情報の漏洩や滅失などの事故を防止するとともに、プライバシーマーク取得企業として、業務上知り得た個人情報についても適切な管理を行います。
- 社内の内部監査委員会による厳密な監査の実施や、個人情報保護研修の実施により業務品質を向上させ、より安定して運営できる情報管理体制を構築します。

<法令遵守に関する計画>

- CSR 推進室を設置し、法律面の取組みを中心に安全衛生・危機管理について重点的に対応します。
- 外部コンサルタントを起用し、経営及び監査体制について指導・アドバイスを受けています。

○4 半期に 1 度館内のセルフモニタリングをし、自己の運営状況を振り返ることで業務の質を向上させます。また、社内の専門部署による現場巡回やヒアリングを実施することで、仕様や関係法令を遵守した運営ができていないかのチェックをし、適正な管理体制を確保しています。

<施設維持管理・安全管理>

○維持管理については、予防保全を前提とした日常点検を実施するとともに、施設を快適に過ごせるようきめ細やかな運転管理をし、施設の長寿命化を図ります。

○安全管理については、防災・防犯訓練の定期的な実施や、AED を使った救命講習などを通して、全スタッフが緊急時に迅速に動けるよう体制を構築します。

○短歌会館専用の災害・事故対策マニュアルを年 1 回見直し、変更必要時は更新する等活用します。

○事故発生時は緊急体制を確立し、館長を中心に連絡・指示をするとともに、利用者の安全確保・二次災害の防止に努めます。

○負傷者が出た場合に備えて事前に対応フローを定め、常日頃より全スタッフが熟知し対応できるよう実践型の研修を行います。

<施設の平等利用に関する計画>

○名古屋市短歌会館の設置目的・役割を認識し、公の施設の管理運営を代行する者として、全ての市民に分け隔てなく公的サービスを提供します。

○引き続き統一した利用受付方法や、公平な情報提供に努め、透明性のある平等な利用を確保します。

○全ての市民に対して公平に情報が伝達できるよう、ホームページや施設内での掲示物といった様々な発信方法でリアルタイムの情報を提供します。

(2) 実施業務の計画について

① 指定管理業務

<施設の活用に関する計画>

○短歌会館をご利用の団体様に対して、文化活動の成果発表の場や文化・交流の場を積極的に設け、市民文化の一層の振興を図ることを目指します。

<地域団体等との連携に関する計画>

○これまで同様、地域のお祭りや催しに積極的に参加し、公共施設の運営を通じて地域の皆様が支え合う文化を育めるよう、地域に密着した関係を構築します。

○市内の図書館と連携し、短歌会館に保管されている歌集を図書館内にて特別展示してもらおう等、短歌会館の PR に繋がる文化事業を共催・実施します。

<アウトリーチ事業に関する計画>

○音楽活動で利用する団体を対象に、日頃の成果を舞台やホールで発表してもらおう機会を創出します。

○小学校や福祉施設に訪問し、普段芸術文化に触れあう機会の少ない方たちに向けてミニコンサートや参加体験事業等の実施を検討します。

<サービスの向上に関する計画>

○利用者が文化活動により取り組みやすいよう、アンケートやヒアリングにてご意見の多かった備品等拡充を図ります。

○来館される方に目でも楽しんでもらえるよう、館内を彩る季節の花等、装飾をしておもてなしをします。

○満足度調査の手法・反映方法としては、「ご意見箱」「利用者懇談会」「利用者アンケート」「メールフォーム」「ヒアリング」により聴取します。内容は全スタッフに情報共有をした後、サービス向上を目指して推進できる項目から改善を進めます。

<利用促進に関する計画>

○広報の取組みとしては、ホームページやFacebook、twitter等を利用した情報発信を積極的に行い、施設のPRをします。

○急遽キャンセルとなった部屋についてはSNS等で情報を発信し、活動の窓口を広げています。

②自主事業（実施している場合）

<施設の活用に関する計画>

○「月曜日の開館」と「無料開放デー」を継続実施し、利用者の活動枠を広げます。

<短歌・俳句等の普及啓発に関する計画>

○短歌の魅力を発信し、その振興を図る為に、歌人会と共催して講演や歌合せの大会などのイベントを開催します。

○芭蕉顕彰名古屋俳句際の開催において、投句用募集箱を館内に設置・PR活動をし、俳句祭の活性化に寄与します。

○引き続き、短歌をつくる楽しさを知ってもらう講座の開催や、古典の日になんだ古典芸能等に親しんでもらう催しを展開します。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

【各年度ごとの提案総額(各年度ごとの総計)】

平成30年度	17,995千円
平成31年度	18,025千円
平成32年度	18,055千円
平成33年度	18,085千円
平成34年度	18,115千円

【期間を通じた収支計画(指定期間を通じた項目別内訳)】

<収入>

(単位：千円)

費目	内容	金額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	87,050
事業収入	自主事業イベント収入	65
自動販売機収入		2,900
助成金・協賛金収入		10
その他収入	コピー代等	250
	支出計	90,275

<支出>

費目	内容	金額
人件費	人件費及び福利厚生費	65,100
光熱水費	電気、ガス、水道料金	6,575
事務費	消耗品費、通信費、印刷費、賃借料等	3,200
管理費	委託料、飲料仕入れ費等	10,100
事業費 (施設使用料含む)		1,000
租税公課費 (事業所税を除く)	印紙代	5
本社・事業所経費	労務管理、出納管理等	4,295
	支出計	90,275

<経費削減の取組み>

- 専門性の高い業務以外は、原則自社施工にて業務を遂行することで、コストダウンを図っています。
- スタッフのマルチジョブ化により、生産性を上げた業務効率の良い人員体制を構築しています。
- 当社が県内で運営している施設と統括してマネジメントを図り、事務局側で備品共有や一括購入により余財コストを低減しています。